



# マウイ島火災リカバリー

ハワイ州保健局の大気モニタリングに対するEPAの支援

2023年11月8日

マウイ・カウンティとハワイ州保健局のためにラハイナに設置された第1期大気モニタリング・ステーション

マウイ島は私たちに多くの恩恵をもたらしてくれました。  
その感謝の気持ちを込めて、今、私たちは支援することを誇りに思います。

マウイ・カウンティとハワイ州保健局の要請により、米国環境保護庁はラハイナに5か所の大気モニタリング・ステーションを設置しました。これらのモニターは、第1期作業の間、粒子状物質（塵のような微細な物質）のデータを継続的に提供します。

ハワイ州保健局は、モニターから収集されたデータを分析し、データに基づいて住民に助言を行います。

モニターされているデータは、：<https://fire.airnow.gov> で見るすることができます。また、ハワイ州保健局は、<https://health.hawaii.gov/mauiwildfires> で初期の情報のまとめを発表しています。

---

**ご注意ください：灰や瓦礫は有害であり、アスベストや鉛、ヒ素を含んでいる可能性があります。強風や物理的にかき乱されることで、灰が空中に飛散して、吸引されたり焼失区域外に飛散したりするリスクが増加する場合があります。**

---



画像：ラハイナのシビックセンターに設置されたEBAM

#### 継続的な大気モニタリング：

- 大気モニターのひとつである環境ベータ減衰質量モニター（EBAMs）は、粒子状物質（塵のような物質）のレベルを継続的に測定するために使用されます。
- モニターの設置場所の一覧は、[fire.airnow.gov](https://fire.airnow.gov) に掲載されています。

大気モニタリングの詳細については、以下のサイトをご覧ください：

<https://health.hawaii.gov/mauiwildfires/> または  
[www.mauirescues.org](http://www.mauirescues.org)